

品川スクールオーガニック(仮称) お取り扱いのご提案

品川区のオーガニック給食をALL品川の取り組みに

2025年 8月23日(土)
株式会社大治

品川スクールオーガニック（仮称）のお取り扱い提案

【ご提案の概要】

2025年10月より品川区内の公立小中学校46校の学校給食に有機JAS認定・特別栽培農産物を使用することが計画されています。あわせて、品川区内の小売店で同じ生産者の有機農産物を店頭で販売することをご提案したいと考えております。

- ・ 給食食材と同じ生産者（生産者グループ）の有機JASの農産物を『品川スクールオーガニック(仮称)』として販売
- ・ 学校給食で使用される規格（2Lサイズを想定）以外のサイズを店舗でお取り扱い
- ・ 当初の品目は、“玉ねぎ、ジャガイモ、人参”を想定（現在、品川区で調整中）

【取り扱いにより想定されるメリット】

1. 集客効果
 - 品川区のご父兄をはじめ、品川区在住の消費者は関心を寄せています
2. 有機JASの更なる取り扱いのきっかけに
3. 各方面への支援（企業価値の向上）
 - 品川区の取り組み支援
 - 有機生産者への支援
 - “みどりの食料戦略”の加速支援

【品川スクールオーガニック(仮称)のブランディング】

品川スクールオーガニック(仮称)のロゴを製作、有機JASを店頭で販売する際に商品に貼付することで、消費者へ取り組みをアピールします。



木更津市では「学校給食米」として販売を伸ばしている事例もあります。

※ 写真は木更津市の学校給食米

品川区『有機農産物等活用推進事業』(オーガニック給食)をサポート

【中間流通から見た課題と解決策】

学校給食で有機野菜を使用する場合、安定供給や希望サイズの納品を求められます。

調理現場の要望：

- 作業効率を落とさないため、希望サイズを納入
- 安定供給を希望（夏休みなど給食がない時は不要）



産地・生産者の要望：

- 給食に使用しない時も出荷を希望
- 給食で使えないサイズも全て出荷を希望

学校給食と同じ有機野菜を
小売店での販売、飲食店での
使用により、これらの課題を解決

【モデルのイメージ】

